

## 家庭ごみの有料化に向けて（審議会説明資料）

H21.7 作成

※ この5月に、「循環と共生の環境づくり」の研修に参加し、その中で  
東洋大学 経済学部 教授 山谷 修 先生 から

『家庭ごみ有料化の取組と今後の展開』という講義が、ありましたので、

その資料を含め、国内と県内の有料化の現状をお知らせしたいと思います。

### 1 家庭ごみ有料化の現状（全国）（2009年4月現在）

区 分	総 数	有料化数	有料化率（%）
市区町村（全国）	1,800	1,057	58.7
<b>市 区</b>	<b>806</b>	<b>417</b>	<b>51.7</b>
町	802	524	65.3
村	192	116	60.4

- (1) この調査によると、町や村の自治体の方が、市・区に比べ有料化率が高い。
- (2) その要因としては、都市部より農村部の方が、家庭ごみの自己処理（堆肥化、焼却、飼料化）がしやすい生活環境である。
- (3) このことは、自らごみの排出量をコントロールすることができ、有料化の負担意識が小さくてすむということに繋がり、有料化が受け入れられた背景になっていると考えられています。

### 2 市・区 の有料化への取組時期

- (1) 市・区での有料化は、1960年代、3自治体から始まり、
- (2) 1990年代の後半から、急激に増加している。  
その数は417市区のうち351市区を占め、率では約84%である。
- (3) この急激な増加には、次の時代背景が関与したと考えられている。
  - ①平成大合併で有料化していない市区が有料化している町や村と合併した際、有料化を取り入れたこと。
  - ②容り法の制定 や 自治体のごみ分別の取組み の時期が重なったこと。

### 3 県内の家庭ごみ有料化の現状 (2009年1月現在)

#### (1) 可燃ごみ

区分	総数	有料化数	有料化率(%)
県内	20	13	65.0
市	13	8	61.5
町	7	5	71.4

※県内の状況においても、全国と同様に、農村部の方が有料化が進んでいる。

No.	市町名	指定袋 制導入 の有無	有料化 の有無 ※1	ごみ袋金額(枚/円)				備考
				大	中	小	極小	
1	下関・他地区	○	○	45	30	18	10	大45 <small>円</small> 、中30 <small>円</small> 、小18 <small>円</small> 、極小10 <small>円</small>
	下関市・豊浦・豊北	○	○	25	15	5		大40 <small>円</small> 、中20 <small>円</small> 、小5 <small>円</small>
2	宇部市	○	×					袋自由価格 約10円(大)
3	山口市	○	○	10	9	8		
4	萩市	○	○	50	30			H17合併時から有料化・無料袋の配布制度あり ・H19.10料金改定
5	防府市	○	○	13	12	9		
6	下松市	○	×	10	8	6		
7	岩国市	○	○	30	25	15		販売手数料 = 価格 × 0.1 × 1.05 市収入 = 価格 - 販売手数料 - 袋原価
8	光市	○	×					袋自由価格 約8~11円
9	長門市	○	×	18.3	12			
10	柳井市	○	○	30	20	10		
11	美祢市	○	○	25	15			H21.4 20 <small>円</small> 10円追加
12	周南市	○	×	10	8	6		有料化計画 白紙撤回
13	山陽小野田市	○	○	袋+5	袋+4	袋+2		袋自由価格 H20.10有料化
14	周防大島町	○	×	20	15			
15	和木町	○	×	30		17		7%が販売手数料、残は製造費
16	上関町	○	○	28	22	18		H20.4~処理費上乘せ分 大9中6小4
17	田布施町	○	○	20	15	10		
18	平生町	○	○	20	15	10		
19	阿武町	○	○	50	30			
20	阿東町	○	○	30	20			
合計		20	13					

※手数料条例により、手数料を定めているものを有料化とした。

※有料化の金額は、(ごみ袋原価+販売手数料+処理手数料)

(大:30~50円、中:18~35円、小:5~20円、極小:10円)

※自由価格:小売店が卸値をもとに個別に設定

## (2) 不燃ごみ

区分	総数	有料化数	有料化率(%)
県内	20	9	45.0
市	13	5	38.5
町	7	4	57.1

No.	市町名	指定袋 制導入 の有無	有料化 の有無 ※1	ごみ袋金額(1枚)				備考
				大	中	小	極小	
1	下関市 下関・他地区 豊浦・豊北	×	×					シール貼付により有料化 大40円、中20円、小5円
				25	15	5		
2	宇部市	×	×					
3	山口市	×	×					
4	萩市	○	○	50				H19.10~ 大40円
5	防府市	×	×					
6	下松市	○	×	12	10			H19.10~ 指定袋制導入
7	岩国市	○	○	30	25	15		
8	光市	○	×	12	10			
9	長門市	○	×	16.8	12			
10	柳井市	○	○		25	15		
11	美祢市	○	○	15	10			
12	周南市	○	×	13.3	10.6			有料化計画 白紙撤回
13	山陽小野田市	×	×					
14	周防大島町	○	×	350				麻袋(金属ごみ、埋立ごみ) ネット(プラ類、空き缶)
				100				
15	和木町	○	×	30		15		7%が販売手数料、残は製造費
16	上関町	×	×					
17	田布施町	○	○	25	20	15		
18	平生町	○	○	25	20	15		
19	阿武町	○	○	50	30			
20	阿東町	○	○	50				
		15	9					

#### 4 市・区の自治体の家庭ごみ有料化への取組予測（まとめ）

※ 家庭ごみの有料化制度の導入は、

（①分別・収集の仕方、②自治体の処理施設の状況、③市民意識など）  
自治体ごと の 状況が異なることから、 統一した見解は出せない が、

①国の基本計画の中で「一般廃棄物の有料化を促進すべき」とのこと指針が明確に打ち出されていること

②全国の市・区の自治体で、有料化はすでに過半数を超えていること。

③また、近況の2000年台に有料化した自治体が、前半が124自治体、後半には151団体と増加し、その伸び率は、21.8%であること。

※これらの状況を総合的に判断すれば、今後とも、市民との合意形成をつくりながら、有料化に向けた取り組みが 継続されるとの 予測がされております。

#### 5 近隣市の家庭ごみ有料化への取組 （実情）

最近の状況としては、山陽小野田市がH20年10月から有料化を実施している。

しかしながら、2010年に導入予定であった広島市は、経済状況の悪化を理由に条例案の上程を見送っている。

また、県内では、平成20年7月の周南市の市議会で有料化案が否決された経緯があり、追随予定だった光市も有料化を白紙撤回している。